

ミニシンポジウム

底びき網漁業における漁具の改良とその普及

近年各地で漁具改良が行われ、改良された漁具の現場への導入が行われているが、諸々の事情により各地先個別でなされているのが現状であると思われる。また、論文等で既に報告され情報を入手できる物もあるが、その場合でも得られる情報は技術的な面が中心で、開発の背景や開発後の普及、漁業者の感想などの詳細を知ることは容易ではない。そこで、先駆府県や試験研究機関の実例を示すこと、それに関連する情報交換を行うことを通して、ブロック内における問題意識の共有や、更なる改良漁具の普及に繋がればと考え、このミニシンポジウムを企画した。

廣瀬太郎（日本海区水産研究所）